

令和6年度 第1回中野市介護保険事業運営協議会 会議録

1 日 時

令和6年9月25日（水） 午後1時30分から

2 場 所

市役所 会議室 41・42

3 出席者

【委員】（敬称略）

丸谷和洋、小林強、矢島好弘、杉浦亜弓、宮尾加容子、田邊さき子、古川慎作、石塚豊、櫻井恭子、清水照子、町田隆夫、豊田和広、齋藤文子、花岡隆志、高波陽一（計15名）

【事務局】

高山健康福祉部長、堀米高齢者支援課長、早見高齢者支援課長補佐兼介護保険係長、有賀介護予防包括支援係長、丸山長寿福祉係長、長嶺副主幹（計6名）

4 欠席者

【委員】（敬称略）

南修（計1名）

5 内 容

次第1 開会（事務局）

次第2 あいさつ（高山部長）

次第3 中野市老人福祉計画・介護保険事業計画における令和5年度実績について

【事務局説明】

【質疑】

（花岡委員）

資料1の1ページの表と棒グラフにある令和5年度の総人口が、40,905と40,906とあり、1人分ずれています。それと、2ページの要介護認定者数の棒グラフで、R5とR4を比較すると要介護2が特に少ないようですが、これは特に要因などありますか。

（介護保険係長）

総人口につきましては、棒グラフの40,906が40,905の誤りです。訂正します。認定者数の推移ですが、特にこれといった要因はありませんが、認定申請時に総合事業で対応できるケースであれば、そちらにご案内しているということもあり、若干減っているもの

と思われます。ただ、今後高齢者が増加していきますので、全体的な傾向では認定者数も増えていくものと思われます。

(石塚委員) 12 ページの介護予防の実績ですが、わかがり講座だけ例年実績と比較して落ち気味ですが理由はありますか。

(介護予防包括支援「脳元気!!体らくらく教室」が令和5年度から始まりまして、そちらの教室の受講に移られた方がいらっしゃった影響でわかがり講座の人数が少し減ってしまったということです。

次第4 地域密着型（介護予防）サービス事業所について

次第5 居宅介護（介護予防）支援事業所について

次第6 地域密着型サービス事業者の公募について

【事務局説明】

【質疑】

(花岡委員) 9月末まで募集ということですが、今の状況をお話しできるのであればお聞かせください。

(介護保険係長) 現在の状況としましては、1事業者から認知症対応型共同生活介護について話が来ています。

(石塚委員) 応募が27床ということですが、事業所数はいくつになりますか。

(介護保険係長) こちらにつきましては、募集要項にあるとおり、最大27床ということです。もし1事業所で9床の応募がありましたら、あと18床分は採用できる形になっていますので、もし9床ずつの応募であれば最大3事業所まで対応できる形になっております。

次第7 その他（全体を通して意見・質問）

(宮尾委員) 資料1の12ページ「熟年男の部活動」の今年度の目標が昨年の実績から減っている。高齢男性の閉じこもりが問題になっていて、その予防のためにこの取組ができたと思うので、目標回数が減っているのはどんな理由でしょうか。

(健康福祉部長) 6年度の目標につきましては、目標を立てる時点では令和5年度中に予定として立てたものですので、実績を見る中で今年度も令和4年、5年度並みになるように取り組んで参りたいと考えております。

(清水委員) 資料4の公募の件について、先ほどの説明ですと現時点で1者からしか話がないということですが、これは予定内なのでしょうか。それとももっとたくさんの応募を見込まれていたのでしょうか。

(介護保険係長) 話自体はもっと多くの業者から聞いていたのですが、検討された結果やめられたということも伺っています。話があった業者全てが実際の応募に繋がっているわけではないという状況です。

(高齢者支援課長) 第9期介護保険事業計画策定の際に、公募の事業数を見込んで計画を立てており、その際にも事業所から希望等伺ったうえで計画に反映しているわけですが、ここで実際に公募してみると、建築費高騰や職員確保で事業所が二の足を踏んでいるということを聞いております。ただ、9期の計画期間中にこれだけ整備したいということで、まだ計画期間中1年目ですので、今後様子を見ながら再公募ということも検討して参りたいと考えております。

次第8 閉会(副会長) (午後2時07分)